



**赤色灯の淵源**  
『自分たちの街は自分たちの手で守る』という住民自治の基本理念を掲げ、平成元年の発刊以来地域住民一人ひとりの防災意識の向上を目的に広報紙赤色灯を発行してまいりました。今後とも市民の皆さんが安全に暮らし安心して子育てができる街づくりの実現に向け活動してまいります。

発行 釧路市中央地域自主防災組織等協議会  
「赤色灯」は防火・防災パークゴルフ大会、防火ダンスの益金等で発行しています。

問合せ先 〈事務局〉 釧路市南浜町4番8号  
釧路市中央消防署 予防広報査察担当 TEL.23-0430

「日本海溝・千島海溝沿い**巨大地震**の津波被害想定」(昨年度が発表)  
★釧路市の犠牲者は最大で8万4千人と推計★(2割の早期避難率等で、冬・夕方の場合)  
ただし、早期避難で大幅に犠牲者を減らすことができます。

一人一人が命を守るために、**早期避難**が大切です。

## 大津波災害時の避難所情報等の確認のためにも 大津波を想定した市Webハザードマップ<sup>®</sup>を活用しよう! ～簡単アクセス方法～

☆土地勘のない外出先等でも、スマホの待ち受け画面に設定したアイコンから簡単に、市Webハザードマップ(大津波)が開け、最寄りの避難所情報等をスマートフォンで確認でき、早期避難に役立ちます。防災対策の一つとして活用してみませんか!



### 【土地勘のない外出先等におけるスマホ活用方法】

①ホーム画面に張り付けた(ブックマークに登録した)、釧路市Webハザードマップのマークをタッチし、「確認事項」の「同意する」をタッチして「大津波想定避難所情報等」が表示される画面を開く。

②📍は自分がいる場所を示し、タッチすると大津波想定**基準水位**(浸水深+せき上げ高)と津波到達時間が表示されます。

③🏠最寄りの津波一時避難場所のマーク等にタッチすると、避難先の名称、所在地、自分がいる場所からの距離などが表示されます。避難する際は、この名称右上の×をタッチし、表示を消してから地図上の道路で避難先への道すがら確認でき、早期避難に役立ちます。

※津波は自然現象ですから、想定には不確実性を伴い、この想定を超える大津波の事態もありません。

常に「もしかしたら危険では」と考える習慣をつけてください。

自らできる限り迅速かつ、できる限り高く安全な場所を目指して避難しましょう。

**津波一時避難場所**



【津波避難ビル・津波緊急避難施設】  
津波でも安全な建物で、屋内や屋上に待機場所があります。



【緊急避難場所】  
津波の浸水しない場所にある高台や建物です。